

分野連携企画報告書

行事（企画）名：生産システム部門／情報・知能・精密機器部門
コロケーション講演会（日本機械学会分野連携企画 no.21）

行事URL <https://www.jsme.or.jp/iip/Japanese/Events/Data/2022/IIP2022-annai.html>
<https://www.jsme.or.jp/msd/html/99/kouen22-6.html>

1.開催日・会場 2022年3月7日（月）～3月8日（火）・オンライン

3.企画内容

- ・学会の目的・理念をもとに参加しやすい環境を整備。
 - (1)研究の深化→予稿原稿1枚可、洗練させ国際会議や論文投稿へ
 - (2)研究の発展・拡張→部門連携の拡充へ
 - (3)知の体系化・情報収集→追加費用無で両部門講演会に参加可
- ・特別講演は両部門で興味関心のあるテーマで1件ずつ講師を選定。
- ・オンライン講演会でのコミュニケーション活性化を目的に、初めて Gather Townツールを用いたディスカッションタイムを設けた。また、企業広報・展示・採用の場としても活用した。

4.連携の成果

- ・講演件数および有料参加者数が大幅に増加した。
- ・ワークショップを2件企画、外部参加者も多く、好評だった。
- ・特別講演2件にも多くの参加があり、参加者の満足度が高かった。
- ・Gather Townツールにより、ディスカッションタイムで「細かい議論ができた」、「コミュニケーションがとりやすかった」等の好意的な意見もあった。

2.企画部門

情報・知能・精密機器部門（IIP部門）
生産システム部門（MSD部門）

5.今後の課題（苦勞した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

- ・Gather Town（仮想会議スペース）は初めての人が多く、慣れていないためか、参加必須の講演者も含め、参加者が少なめだった。発表はZoom、ディスカッションタイムはGather Townと入り直す手間も要因と考えられる。ディスカッションやコミュニケーションの活性化に有効だが、より一層の工夫が必要と思う。
- ・Gather Townの企業展示も初の試みだった。企業の採用活動の場であることを特に学生へ認知してもらう必要有。アバターの表示名（所属と名前）では学生か否か判断できないので、学生とわかる工夫も必要。
- ・今回はMSD部門代表とMSD事務局がIIP部門打合せに参加下さり、連携がスムーズに運んだ。また、IIP部門の広報と事務局に毎回参加いただき、情報配信や不明点解消等が円滑にできた。